



ゆらがわ

舞鶴市立由良川小学校
 学校だより 8・9月号
 〒624-0955 舞鶴市字丸田74番地
 TEL：0773-82-0013
 令和4年8月30日発行

2学期が「実りの秋」になるように！

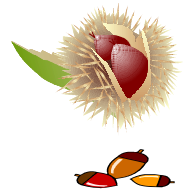
7月中旬からのコロナウィルス感染症の第7波の影響は大きく、舞鶴市内での感染者数の増加が見られ小・中学校の児童、生徒の感染者も毎日のように出ている厳しい状況となっています。そのような中ですが、本日2学期をスタートしました。保護者の皆様をはじめ地域の皆様のおかげを持ちまして、夏休み中大きな事故もなく、子どもたちが元気いっぱいに登校してくれたことを大変うれしく思います。

さて、一番長い2学期は季節としては「秋」です。秋は気候もよく、学習や運動、読書をするのにとてもよい季節です。果物や5年生が育てているバケツ稲も実りを迎えます。考えてみれば、コロナ禍の中でも野菜は学校園ですくすくと育ち、1学期末のさくらぎカレー計画でも味わえたように多くの収穫がありました。笑顔いっぱいにとても素敵な取組になりました。自然のたくましさを感じます。小まめに水やりをしたり、太陽を浴びることで育ちます。これと同じように、毎日学校に来て、勉強したり、運動したり、遊んだりすることで子どもたちも成長していくのではないのでしょうか。

2学期には、子どもたちの成長した姿を保護者や地域の皆様に見せる機会である運動会やマラソン大会もあります。元気いっぱいではつらつとした姿を見せることができるように、「実りの秋」になるように学校生活を頑張ってもらいたいです。そのためには、何かに挑戦したり、努力したり、苦勞をしたりすることも必要となってきます。

また、保護者の皆さまの支えが欠かせません。日々の学校生活の中で、一つ一つの頑張りが豊かな実りとなり、学校生活がさらに充実したものになるように、子どもたちを励まし、自信を持たせる声かけ、応援をご家庭でもよろしく願います。

校長 中江 浩二 教職員 一同



第1回いじめアンケートの結果について

(調査日 令和4年6月10日～6月14日)

学校では、いじめはどの子にもどの学校にも起こりうるものであるという認識のもと、年間を通じ、全ての教育活動において、いじめを「しない、させない、見過ごさせない」ための指導に努めているところです。今年度も6月をいじめ防止対策強化月間として設定し、学校朝礼での校長講話、児童会本部による全校遊び等を実施しました。その中で、学校生活での困りごとや友達との関わり方等について全児童を対象にアンケートを行い、その後、一人一人と個別面談を行いました。以下にアンケートの集計結果を報告させていただきます。

- 第一段階のいじめ = 解決している、解決の見通しが立っているもの 認知件数 6件
- 第二段階のいじめ = 現在も解決していないもの 認知件数 0件
- 第三段階のいじめ = 子どもの命にかかわるもの 認知件数 0件

【認知した内容の内訳】

冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	1件
仲間はずれ、集団による無視をされる。	1件
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	2件
ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。	1件
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	1件

今回のアンケートと個人面談から、「継続的で深刻ないじめの実態」は見受けられませんでした。全ての回答について事情を聴き取り、思いを伝え合うことでお互いに納得することができました。いずれの事象についても、突発的な感情による言動やお互いの思いをうまく伝えられないコミュニケーション不足が原因となっているように思われます。相手の気持ちを推し量ることや自分の気持ちを適切に伝えることは、いじめをなくす第一歩だと思います。これからも、どの子どもも安心していきいきと自分の力を発揮することができる「いじめのない」学校づくりを目指して取り組んでいきたいと思えます。ご家庭や地域におかれましても、子どもたちの様子で気になることがございましたら、学校までお知らせください。

